

本人の将来設計を無視した駅還流反対!!

11月22日、突如会社は、当分会書記長鈴木秀和さんに豊川駅への転勤発令を通知しました。聞くところによると「同じ豊橋運輸区なのにユニオン組合員には、事前に希望地を聞くなど」差別した対応がありました。

また、鈴木書記長は、車掌職を希望して国鉄当時には名古屋鉄道管理局経理課課員（非現業）から車掌となり現在に至っています。ですから、仕事も真面目に行っていますし、車掌としてのプライドを持って乗務しています。そのことは、鈴木書記長の仕事ぶりを知る人なら誰もが認めるところではないでしょうか!!

鈴木書記長は、発令通知した区長に対し「車掌は天職である。駅には行きたくない。乗務員・車掌を続けたい。」との意思を伝えるとともに、発令当日に苦情処理申請を行いました。JR東海労は、本人の希望や将来設計を無視した「運輸システムの社員運用」には多くの問題点が置き去りにされていると認識しています。

社員を将棋の駒のように扱う会社の問題点を指摘すると共に、ねばり強く交渉し、職場で働く仲間を訴えています。

鈴木書記長への駅還流は、「主任レポート反対」、「時系列報告書反対」の闘いを進めるJR東海労への報復としての攻撃です。

そして私たちは、「でっちあげ蒲郡事件」を共に闘っているJR東海労組合員を運輸職場から追放し、組合の弱体化・組織破壊を狙った行為であると受け止め、断固闘いを推し進める決意です。

最後の車掌業務・TRAIN CREW から

STATION STAFF に決意も新たに!

最終乗務となった11月28日、私たち分会組合員は豊橋駅にて書記長を出迎え、労をねぎらうと共に記念撮影をしました。その後、昼食会を開催し、『駅に転勤させる会社の狙いとその本質について』議論すると共に、新天地『豊川駅』に行っても組織強化・拡大を目指して闘うこと、豊橋運輸区分会に結集する仲間を創り出していくことを確認しました。



共に頑張ろう!!
鈴木秀和さん!!

鈴木書記長は、12月25日まで三島研修センターにて研修中です。

組合員のみなさん! 他労組のみなさん! 鈴木秀和さんへの激励をお願いします。

